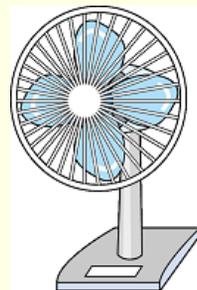


暑熱対策は早めに準備を！

換気・送風

- ・牛舎の窓を開放し、換気しましょう。
- ・扇風機などで牛体に送風し、体感温度を下げましょう。
- ・細霧装置を併用することで、熱放散が促進されます。



遮光ネット



緑のカーテン



日光の遮断

- ・よしずや遮光ネットを設け、日光の射し込み、壁面の高温化、地面からの照り返しを遮断しましょう。
- ・牛舎の屋根を白く塗ったり、散水するのも効果的です。
- ・ゴーヤなどの植物で緑のカーテンをつくり、日光の射し込みを防ぎましょう。

乳量からみた高温・多湿の影響は5月下旬からはじまります。扇風機を用意・点検しましょう。

緑のカーテンを作るには苗の植え付けをはじめましょう。早めに暑熱対策を準備して、酷暑期を乗り切りましょう。



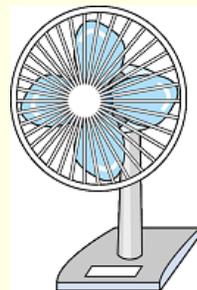
その他

- ・牛の体温上昇をさけるため飼料の給与回数を分散したり、一部を夜間給与にし、清水を十分給与しましょう。
- ・高泌乳牛や分娩の近い牛は条件の良い場所に繋ぎ換えましょう。
- ・毛刈りをすると体表からの熱放散がスムーズになります。
- ・昼間は暑くとも、夜間は涼しい環境で牛の体温も正常にもどるようにしましょう。

暑熱対策は早めに準備を！

換気・送風

- ・鶏舎のカーテンを開放し、換気するとともに、換気扇・扇風機を活用し、送風や細霧によって体感温度を下げましょう。



遮光・断熱



- ・よしずや遮光ネットを設け、日光の射し込み、壁面の高温化、地面からの照り返しを遮断しましょう。
- ・鶏舎の屋根を白く塗ったり、散水するのも効果的です。
- ・ゴーヤなどの植物で緑のカーテンをつくり、日光の射し込みを防ぎましょう。

飲水の確保

- ・新鮮で冷たい水を十分飲めるよう、給水器を点検、給水管内の水温を冷たく保つようにしましょう。
- ・給水タンクに氷を入れて水温を下げるのも効果的です。



その他

- ・密飼いになると体熱の放散により温度環境は悪化します。適正な飼育密度を守りましょう。
- ・気温の低い時間帯に飼料給与し、体内発熱増加と舎内温度上昇がかさならないようにしましょう。
- ・鶏糞を除去し、空気の対流促進、鶏糞の分解熱を防ぎましょう。
- ・熱性多呼吸には重曹投与で対応しましょう。